

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月23日更新

事務事業名		子ども会育成連絡協議会助成事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	福祉の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開 輝久雄
	施策	4	子育て支援の充実				所属課	生涯学習課	担当者名	松本 聡一郎
	施策の柱	17	地域における子育て支援				所属班	生涯学習班	(内線)	1504
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番10816	根拠法令	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱		
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・子ども会育成連絡協議会が行う活動(スポーツ大会の開催、ジュニアリーダー研修、子どもフェスティバル共催協力等)を支援するため、補助金の交付を行い、子ども会活動の活性化を図る。 ・子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付を行い、事務局として開催支援を行う。
【業務の流れ】	年5回の理事会を開催し、子ども会活動の企画・運営を行う。また、各種研修等に参加し、本市の社会教育推進の一助を担う。
【主な予算費目】	職員手当等、旅費、負担金補助
【意見や要望】	加入率低下に伴い、単位子ども会の休会が目立つようになっている。広域化を視野に、コミュニティを活かした活動実施に活路を見出したい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・理事会(4月・5月・8月)が新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。 ・総会(4月)が新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。 ・スポーツ大会(7月:ソフトボール・ビーチボールバレー・アジャタ)が新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。 ・育成会会長会議(1月)が新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止とした。		・子ども会育成連絡協議会理事会(4月・5月・8月・11月・3月) ・子ども会育成連絡協議会総会(4月) ・子ども会スポーツ大会(7月)(ソフトボール・ビーチボールバレー・アジャタ) ・子どもフェスティバル(10月) ・育成会会長会議(12月)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 助成金及び補助金の額	千円	新型コロナウイルス感染症拡大防止により各種事業が中止となったことによる、時間外勤務手当、理事等への謝金の減	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
合志市内の小中学生	人	⇒ ア 合志市内の子ども	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
社会教育推進をととした学校教育の補強	団体	⇒ ア 地域のボランティア数(子ども110番の家の数、子ども会の組織数、子育てサークル、母親クラブ)	
	人	⇒ イ 小中学生の子ども会員数	
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
子ども会活動の活性化は、地域力強化の基盤になると考える。学校以外のコミュニティを創出することで、子どもたちが「活躍・成長する場」を提供し、将来の合志市を支える人材を育成していきたい。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア	千円	1,499	1,544	900	200	1,600	1,600	1,600	1,600
	イ									
② 対象指標	ア	人	7,800	7,900	8,000	8,000	8,100	8,200	8,300	8,400
	イ									
③ 成果指標	ア	団体	350	350	380	350	380	380	380	380
	イ	人	1,800	1,800	1,800	1,141	1,800	1,800	1,800	1,800
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,499	1,874	1,961	207	1,834	1,961	1,961
	(A) 事業費計		千円	1,499	1,874	1,961	207	1,834	1,961	1,961
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	5	10	5	4	5	5	5
		延べ業務時間	時間	157	1,896	157	525	157	157	157
	(B) 人件費計		千円	618	7,513	625	2,070	625	625	625
			千円	2,117	9,387	2,586	2,277	2,459	2,586	2,586

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度的事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナウイルス感染拡大防止により子ども会活動ができなかった。
	② 3年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染拡大防止により子ども会活動の見通しが立たない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 助成金の支払い事務なので向上余地は無い。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に同様の事業は無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金は必要最低限のものであり、削減は難しい。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市全域にわたり子どもが加入している組織や子どもに係るイベントは他には無く、助成金のレベルに相応していると思われ、公正さは保たれている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 助成金の支払い事務は行政事務であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

助成金の支払い事務は滞りなく実施され、当初の目的は達成された。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<